



「自己肯定感を高め、豊かな感性と表現力を育む」
～「それいいね！」思いを認め合える子を目指して～

すみれ組
11・12月

すみれ組のお話を作ろう②

衣装づくり

リボンやキラキラテープで飾り付けした、自分の衣装に大満足！こだわって作った分、愛着もひとしお。劇以外の時間にも帽子を被り、体の一部のようにしている子もいます。衣装を身につけることでスイッチが入り、より役になりきることができるようになりました。



ここにキラキラをつけようかな

リボンをつけよう

パーティーの時のご馳走はフルーツがいい！



楽しい劇にしよう！

自分なりに考えたセリフや動きを実際にやってみます。思い浮かばない時はみんなでアイデアを出し合います。「そこは、こう言ったらどう？」「悔しそうにするといいんじゃない？」「止まって考えながら進んでいた劇が最後まで通せるようになると「最後までいけたね！」「今日すごく楽しかった！」とみんなで作り上げた達成感を感じられたようでした。通せるようになると、もっとよくするために表現を磨いています。「めんだこはフワフワ浮くんだよ」「お客さんに顔が見えるように立とう」など細かいところにまでこだわっています。



「本物みたいでかっこよかったよ」「いい声だったよ！」など互いの良さに気づき認め合うことで自信に繋がっています。

ばら組やちゅうりっぷ組のぼっかばかに見てもらい、楽しんでもらえると嬉しそうです。

「明日はもっと大きな声でがんばりたい！」「もっとかっこよくできそう！」とどんどん良い劇になっています。



育ちのポイント

たくさん褒めてもらって嬉しいね

自分なりのイメージを動きや言葉で表現する
いろいろな素材に親しみ、工夫して作る
友達同士で思いを認め合う

